



5月25日 八代産イグサ配合のプロテインが販売開始  
食品としてのイグサの魅力をしてほしい



株式会社エーピーワールドとイナダ有限会社の関係者らが市役所鏡支所を訪れ、中村博生市長に八代産食用イグサパウダーを配合したソイプロテインの発売を報告しました。晝表の原料であるイグサが栄養価の高い食材であることを広め、生産農家の支援にもつなげたいと開発されたものです。

5月20日 小学校へサッカーボールの寄贈  
スポーツで健康に



県内の子供たちがスポーツで健康になることを目的とした共同の地域貢献事業として熊本トヨタ自動車株式会社と株式会社アスリートクラブ熊本(ロアッソ熊本の運営会社)が市内の全小学校と支援学校にサッカーボール計115球を寄贈し、市役所千丁支所で贈呈式が行われました。

5月28日 ヤマハ熊本プロダクツから消防車両の寄贈  
災害時に役立てて



ヤマハ熊本プロダクツ株式会社が八代市消防団坂本方面隊に小型動力積載ポンプ車を寄贈しました。令和2年7月豪雨で同方面隊のポンプ積載車が使用できなくなったことから、同社が地域貢献として行ったもので、関係者ら3人が市役所鏡支所を訪れ、鍵譲渡式が行われました。

5月26日 鏡小学校児童が農業交流体験  
オクラの苗植えを習ったよ



鏡小学校3年生66人が八代農業高校を訪問し、農業体験で高校生と交流しました。児童らは高校生に教えてもらい、オクラの苗やコリウスを丁寧に植えました。紫色のコリウスを植えた木村壮太郎さんは「分かりやすく教えてくれてうれしかった。大きく育つようお世話を頑張りたい」と話しました。

6月3日 さかもと復興商店街 鍵渡し式  
復興へ新たな1歩



広域交流センター「さかもと館」隣に完成したさかもと復興商店街の鍵渡し式が行われました。同商店街には飲食店や小売業者など9店舗が入居予定で、これから1カ月かけて準備し、同日プレオープンしたさかもと館と合わせて、7月3日(土)にオープンする予定です。

6月1日 ホストタウンフレーム切手の発売報告  
八代市と台湾の交流の架け橋に



日本郵便株式会社九州支社の関係者ら3人が市役所鏡支所を訪れ、中村博生市長にホストタウンフレーム切手の発売を報告しました。この切手は東京2020オリンピックに向けて八代市が台湾のホストタウンであることから作成されたもので、八代市と台湾の観光地などの写真が掲載されています。



# 東京2020オリンピック 内定おめでとう



八代にゆかりのある3人の選手が東京2020オリンピックの日本代表に内定しています。

そのだ けいご かむら たけし  
園田 啓悟選手 嘉村 健士選手



(2選手共通)  
競技種目:バドミントン競技  
男子ダブルス  
出身校:八代東高校  
世界ランキング:5位

2人の主な戦績

- 2017世界選手権(男子ダブルス銅)
- 2018トマス杯(男子団体銀)
- 2018世界選手権(男子ダブルス銀)
- 2019アジア選手権(男子ダブルス銅)

ふくしま ゆき  
福島 由紀選手



競技種目:バドミントン競技  
女子ダブルス  
出身校:坂本中学校  
世界ランキング:1位

主な戦績

- 2018アジア選手権(女子ダブルス金)
- 2018ユーバー杯(女子団体金)
- 2018世界選手権(女子ダブルス銀)
- 2019世界選手権(女子ダブルス銀)

## 恩師からのメッセージ

### ○福島選手のエピソード

福島選手は小さい頃からとてもまじめで、体力づくりや基礎・基本を徹底し、けがをすることはほとんどありませんでした。小学生の頃は相手にラッキーな得点が入ると崩れてしまうこともありましたが、中学校・高校と精神的にも成長し、高校3年では、インターハイで団体・個人戦のダブルスで優勝、シングルスで準優勝と力をつけていきました。

久多良木小学校は、福島選手が卒業した平成18年に閉校し、閉校記念誌には当時の写真などが掲載されています。小さかった女の子が今では世界ランキング1位を保ち続けていて、とても嬉しく思います。

福島選手の久多良木小学校時代の指導者

### ○応援メッセージ

坂本は昔からバドミントンが盛んで、中学時代は松浦コーチほか多くの指導をいただきました。また、老人会の方が横断幕を作るなど多くの方が応援してくださいました。福島選手の頑張りが豪雨の被害に遭った坂本の人の励みになると思います。

メダル候補でプレッシャーは大きいと思いますが、その期待を味方に頑張ってもらいたいです。



橋口 信昭さん

園田選手・嘉村選手の八代東高校時代の指導者

### ○園田選手・嘉村選手のエピソード

印象深いエピソードは、園田選手・嘉村選手の高校1年生のインターハイ県予選です。2人はダブルスでライバル校に1位2位を取られたものの、その翌週の団体戦ではライバル校を退けて優勝、さらに2週間後の九州大会でも優勝しました。2人は高校時代から、日々進化し続けてきました。

卒業後は大学生と社会人に別れましたが、国民体育大会にふるさと選手制度を使って出場し、年に一度だけダブルスを組むと、平成21年には当時の日本一ペアを破って優勝。嘉村選手が大学を卒業後、2人は同じチームで進化を続けています。



権藤 浩二さん

### ○応援メッセージ

ここまで来ることができたのは皆のおかげなので、感謝の気持ちを持って精一杯プレーしてほしいです。

また、オリンピックに出場するだけでも大変なこと。勝敗よりも思い切って自分のプレーを精いっぱい楽しんでほしいです。